

DRUG

INFORMATION

2002 No. 6

岐阜大学医学部附属病院薬剤部
医薬品情報管理室（内線2834）

平成14年3月8日発行

目 次

1. 医薬品の採用・採用中止について 1
 －平成 14 年 3 月 7 日の薬事委員会結果－
2. 院内処方医薬品について 5

※ Drug Information は医学部ホームページの下記アドレスにて提供しています。
<http://www1.med.gifu-u.ac.jp/drug-info/index.htm>

医薬品の採用・採用中止について

院内新規試用医薬品

医薬品名(成分名)	規格・単位	薬品分類	会社名
クリアナール錠(フドステイン)	200mg／錠	去痰剤	三菱ウェルファーマ
セロクエル錠(フマル酸クエチアピン)	25mg／錠	抗精神病剤	藤沢
ドオルトン錠	合剤	黄体・卵胞ホルモン剤	シェーリング
マイスタン細粒(クロバザム)	10mg／g	抗てんかん剤	大日本
レベトールカプセル(リバビリン)	200mg／錠	抗ウイルス剤	シェーリング・ブラウ
オキサロール軟膏(マキサカルシトール)	10g／本	角化症治療剤	マルホ
イオパミロン 370 シリンジ(イオパミドール)	100mL／筒	非イオン性造影剤	シェーリング
イントロン A 注射用(インターフェロン α -2b)	600 万国単位／V	インターフェロン製剤	シェーリング・ブラウ
ノボラピッド注(インスリンアスパルト)	300 単位／3mL／本	インスリン製剤	ノボ・ノルディスクファーマ
フィジオ 140	500mL／袋	電解質輸液	大塚
プログラフ注射液(タクロリムス水和物)	5mg／1mL／A	免疫抑制剤	藤沢

院内採用医薬品

医薬品名(成分名)	規格・単位	薬品分類	会社名
アコレート錠(ザフィレルカスト)	40mg／錠	気管支喘息治療剤	アストラゼネカ
ジプレキサ錠(オランザピン)	5mg／錠	抗精神病剤	イーライリリー
ヒーロン液(ヒアルロン酸ナトリウム)	0.85mL／筒	眼科手術補助剤	ファルマシア
オメプラール注用(オメプラゾールナトリウム)	20mg／V	プロトンポンプ阻害剤	アストラゼネカ
サンリズム注射液(塩酸ピルジカイニド)	50mg／5mL／A	不整脈治療剤	第一
ハロマンズ注(デカン酸ハロペリドール)	100mg／1mL／A	持効性抗精神病剤	大日本
ヒューマログ注カート(インスリンリスプロ)	300 単位／3mL／本	インスリン製剤	イーライリリー
ラジカット注(エダラボン)	30mg／20mL／A	脳保護剤	三菱ウェルファーマ
リツキサン注(リツキシマブ)	100mg／10mL／V	抗悪性腫瘍剤	ロシュ
リツキサン注(リツキシマブ)	500mg／50mL／V	抗悪性腫瘍剤	ロシュ

院内採用中止医薬品

医薬品名(成分名)	規格・単位	薬品分類	会社名
アレギサールドライシロップ(ペミロラスタリウム)	5mg／g	抗アレルギー剤	三菱ウェルファーマ
インフリーS カプセル(インドメタシンファルネシル)	200mg／Cp	非ステロイド系抗炎症剤	エーザイ
チスタニン錠(塩酸エチルシステイン)	100mg／錠	去痰剤	三菱ウェルファーマ
パーキン錠(塩酸プロフェナミン)	50mg／錠	抗パーキンソン剤	三菱ウェルファーマ

※在庫がなくなり次第、処方中止とします。

院内採用中止医薬品(つづき)

医薬品名(成分名)	規格・単位	薬品分類	会社名
ホンバン錠(ホスフェストロール)	100mg／錠	前立腺癌治療剤	杏林
メナミン坐剤(ケトプロフェン)	75mg／個	非ステロイド系抗炎症剤	中外
ウログラフィン 76%(アミドトリゾ酸)	20mL／A	X線造影剤	シェーリング
ノボリン 30R 注(ヒトインスリン)	400 単位／10mL／V	インスリン製剤	ノボ・ノルディスクファーマ
ノボリン U 注(ヒトインスリン)	1,000 単位／10mL／V	インスリン製剤	ノボ・ノルディスクファーマ
フォーチミン注射用(硫酸アストロマイシン)	200mg／V	アミノグリコシド系抗生物質製剤	協和醗酵

※在庫がなくなり次第、処方中止とします。

販売中止医薬品

医薬品名	規格・単位	薬品分類	会社名
バリダーゼオーラル	合剤	消炎酵素剤	ワイズレダリー
バリダーゼバックル	合剤	消炎酵素剤	ワイズレダリー
アロアスクD(滅菌凍結乾燥豚真皮)	12×15cm／枚	創傷保護剤	大鵬
カプロシン注(ヘパリンカルシウム)	10,000 単位／10mL／V	血液凝固阻止剤	シェーリング

※在庫がなくなり次第、処方中止とします。

製剤変更医薬品

医薬品名	規格・単位	薬品分類	会社名	変更年月
アレビアチン細粒 → アレビアチン散	970mg／g → 100mg／g	抗てんかん剤	大日本	H14.4
カナマイシンカプセル(萬有 → 明治)	250mg／g	アミノグリコシド系抗生物質製剤	明治	H14.4
A.R.B.液 → アセティン液	2mL／A	気道粘液溶解剤	千寿	※

※在庫がなくなり次第、変更とします。

院外処方医薬品(追加分)

医薬品名(成分名)	規格・単位	薬品分類	会社名
クリアナール錠(フドステイン)	200mg／錠	去痰剤	三菱ウェルファーマ
グリベックカプセル(メシル酸イマチニブ)	100mg／Cp	抗悪性腫瘍剤	ノバルティスファーマ
ハーモニックF	250mL／瓶	経腸栄養剤	味の素ファルマ
マグラックス錠(酸化マグネシウム)	330mg／錠	制酸・緩下剤	吉田
パルミコート 100 タービュヘイラー(ブデソニド)	11.2mg／本	吸入式ステロイド薬	アストラゼネカ
パルミコート 200 タービュヘイラー(ブデソニド)	11.2mg／本	吸入式ステロイド薬	アストラゼネカ
ノボラピッド注(インスリンアスパルト)	300 単位／3mL／本	インスリン製剤	ノボ・ノルディスクファーマ

院外採用中止医薬品

医薬品名	薬品分類
メチロン末	ピリン系解熱鎮痛剤
カフェルゴット錠	片頭痛治療剤
イダロン錠 200mg	非ステロイド系抗炎症剤
オルジスカプセル 50mg	
オルヂス坐 50mg	
スルガム錠 100mg	
チルコチル錠 10mg	
バキソカプセル 20mg	
ペオン錠 80mg	
ミリダシン錠 90mg	
キョーリン AP2 顆粒	鎮痛・抗炎症剤
アンツーラン錠 100mg	尿酸排泄促進剤
エリミン錠 3mg	催眠・鎮静剤
ネルボン錠 10mg	
ロラメット錠 1.0mg	
ブロムフレリル尿素	
コントロール錠 5mg	ベンゾジアゼピン系抗不安剤
コントロール錠 10mg	
セダプランコワ錠 5mg	
バランス散 100mg/g	
トリオミン錠 4mg	フェノチアジン系抗精神病剤
ストミン A 錠	抗めまい剤
ミオナール顆粒 100mg/g	筋弛緩剤
ムスカルム S 錠 50mg	
イーシードパール錠	パーキンソン病治療剤
塩酸パパペリン散 10%	鎮痙剤
ハイゼット錠 50mg	脳代謝賦活剤
アリメジンシロップ 0.05%	抗ヒスタミン剤
タベジール散 10mg/g	
セレスタミンシロップ	抗ヒスタミン配合剤
ロメット錠 150mg	化学伝達物質遊離抑制剤
ベガ錠 200mg	トロンボキサン A ₂ 阻害剤
ジゴシンエリキシル 0.005%	ジギタリス製剤
イノキテン顆粒 10mg/g	強心剤
亜硝酸アミル 0.25mL	硝酸剤
サブレスタ顆粒(0.5g/包)	カルシウム拮抗剤
ムノバル錠 2.5mg	
ミケラン小児細粒 2mg/g	β 遮断剤
ルブラック錠 4mg	ループ利尿剤
ルブラック錠 8mg	
レセルピン散 1mg/g	交感神経抑制剤
アピラコール錠 30mg	血管拡張剤
コレバイン顆粒 700mg/g	高脂血症用剤
ロレルコ細粒 500mg/g	
アスゲン顆粒	鎮咳剤
フスタゾール糖衣錠 10mg	
プロチン末 66mg/g	
濃厚プロチンコデイン液	
セネガシロップ	去痰剤
アルミゲル細粒	酸中和剤
ファイナリン G	抗コリン配合剤
マリジン M	

医薬品名	薬品分類
アロカカプセル 2.5μg	プロスタグランジン製剤
ロノックカプセル 2.5μg	
ソロン細粒 100mg/g	防御因子強化剤
スパカール錠 40mg	鎮痙剤
スパスメックス錠 5mg	
エビオス末	整腸剤
エントモール散	
ガスコン散 100mg/g	消化管ガス駆除剤
プロルモン錠 20mg	肝底護剤
カロリールゼリー	高アンモニア血症治療剤
ピアードライシロップ 6.8g/包	
ラグノスゼリー16.05g/包	利胆剤
ガーレ・ドナウ錠	
ノボリン R 注 40 単位 10mL	インスリン製剤
ブレドニゾロン錠(ミタ)5mg	副腎皮質ホルモン製剤
デボシン錠 0.02mg	卵胞ホルモン製剤
ルトラル錠 2mg	黄体ホルモン製剤
ウインストロール錠 2mg	蛋白同化ホルモン
ジセタミン錠 25mg	ビタミン B ₁ 製剤
ハイボン細粒 100mg/g	ビタミン B ₂ 製剤
ファデミン錠 15mg	
ピロミジン錠 20mg	ビタミン B ₆ 製剤
カロマイド錠 500μg	ビタミン B ₁₂ 製剤
ハイシー顆粒 25%	ビタミン C 製剤
ビオチンドライシロップ 1mg/g	ビオチン製剤
ビタブレックス	総合ビタミン剤
ゼルフォーム粉末 1g	止血剤
アンブラーグ細粒 100mg/g	血小板凝集抑制剤
パナルジン細粒 100mg/g	
エンテルード(100g/包)	経腸栄養剤
アスパラシロップ 100mg/g	カリウム補給剤
シアナマイド液 10mg/mL	アルコール中毒治療剤
アンピレクト坐剤 250mg	ペニシリン系抗生物質製剤
オラスポアドライシロップ 100mg/g	セフェム系抗生物質製剤
セフテムカプセル 200mg	
レダマイシンカプセル 150mg	テトラサイクリン系抗生物質
クロロマイセチン錠 250mg	クロラムフェニコール系抗生物質製剤
クロロマイセチン末 25g	
ニツパスカルシウム顆粒	抗結核剤
リマクタンカプセル 150mg	
ヴァイデックスドライシロップ	HIV 感染症治療剤
フトラフルカプセル 200mg	代謝拮抗剤
フトラフル細粒 200mg/g	
フトラフル E 顆 300mg/包	
フトラフル E 顆 400mg/包	
フトラフルズボ S1g	
グルカロン錠	その他の抗癌剤
キャンフェロン A300	インターフェロン製剤
キャンフェロン A600	
キャンフェロン A900	

医薬品名	薬品分類
クロラムフェニコール点眼液 T	抗生物質
I.D.U.眼軟膏 5g	抗ウイルス剤
エリックス点眼液 5mL	アレルギー性結膜炎治療剤
ケタス点眼液 0.01%5mL	
コンドロ点眼液 3%5mL	角膜保護剤
ノスラン点鼻液 9.5mL	アレルギー性鼻炎治療剤
リノコート 50μg	
アデスタン G 錠 100mg	化学療法剤
プロクトセディル坐薬	痔治療剤
ヘモリンガル錠	
アクリノール液 0.2%	外皮用殺菌消毒剤
ヒビテングルコネート液 20%	
アデスタクリーム 1%10g	抗真菌剤
バトラフェン液 10g	
バトラフェンクリーム 10g	
パラベールクリーム 10g	
ピルツシンクリーム 10g	
フロリード D 液 10mL	
ペキロンクリーム 10g	
ソルベガクリーム 5g	副腎皮質ホルモン剤:作用が最も強力
ダイアコート軟膏 5g	
ダイアコートクリーム 5g	
アドコルチン軟膏 10g	副腎皮質ホルモン剤:作用がかなり強力
アドコルチンクリーム 5g	
テクスメテン軟膏 5g	
テクスメテン U クリーム 5g	
ビスダームクリーム 5g	
ブデソン軟膏 5g	
トクダーム 5×10cm	副腎皮質ホルモン剤:作用が強力
フルコートクリーム 5g	
フルベアンテープ 5×10cm	
ボアラクリーム 5g	
パルデス軟膏 5g	副腎皮質ホルモン剤:作用が中程度
レダコート軟膏 5g	
レダコートクリーム 5g	
亜鉛華でんぶん	収斂剤
カラミンローション	
サトウザルベ	
サトウザルベ 10	
エバテッククリーム 25g	非ステロイド系消炎・鎮痛剤
バキソ軟膏 25g	
スタデルム軟膏 10g	非ステロイド系消炎剤
スレンジムクリーム 10g	
ヘルペックス S200g	消炎・鎮痛パップ剤
パスタロンソフト 20g	角化症治療剤
ボンゾール錠 200mg	子宮内膜症治療剤
アクディーム細粒 100mg/g	消炎酵素剤
ゼオエース錠 15mg	
ノイチーム細粒 200mg/g	

医薬品名	薬品分類
本草葛根湯顆粒-M2.5g	漢方製剤
本草五苓散顆粒-R2.5g	
本草桂枝茯苓丸料-M2.5g	
オウゴン	生薬製剤
オウバク末	
カンゾウ	
キクカ	
キョウカツ	
ゴミシ	
サイシン	
ショウキョウ	
センキュウ	
ソウジュツ	
トウキ	
ドクカツ	
バクモントウ	
ビャクシ	
ボウフウ	
マンケイシ	
塩酸プロカイン	局所麻酔剤
フェリセルツ	X 線造影剤

院内処方医薬品について

＊フドステイン Fudosteine

【商】クリアナール Cleanal

三菱ウェルファーマ

内用：錠剤 1錠中 200mg

【効】以下の慢性呼吸器疾患における去痰：気管支喘息，慢性気管支炎，気管支拡張症，肺結核，塵肺症，肺気腫，非定型抗酸菌症，びまん性汎細気管支炎

【用】1回 400mg を1日3回食後投与する。

【副】Stevens-Johnson 症候群，Lyell 症候群，肝機能障害，黄疸，食欲不振，悪心・嘔吐，腹痛，胃痛，胃部不快感，胸やけ，腹部膨満感，口渇，下痢，便秘，AST・ALT・Al-P 上昇，BUN 上昇，蛋白尿，発疹，紅斑，かゆみ，頭痛，ふらつき，しびれ感，めまい，耳鳴，味覚異常，熱感，顔面潮紅，脱力感，胸部圧迫感，頻尿

【妊】有益のみ

【授】授乳中止

【小】未確立

＊フマル酸クエチアピン Quetiapine Fumarate

【商】セロクエル Seroquel 藤沢

内用：錠剤(劇) 1錠中 25mg

【禁】昏睡状態の患者，バルビツール酸誘導体等の中枢神経抑制剤の強い影響下にある患者，エピネフリンを投与中の患者，本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者

【効】精神分裂病

【用】1回 25mg，1日2～3回より投与を開始し，患者の状態に応じて徐々に増量する。1日投与量は 150～600mg とし，2～3回に分割投与する。1日 750mg を超えないこと。

【副】悪性症候群，遅発性ジスキネジア，不眠，不安，神経過敏，傾眠，頭痛，めまい，幻覚の顕在化，痙攣，健忘，攻撃的反応，昏迷，神経症，妄想の顕在化，リビドー亢進，感情不安定，激越，錯乱，思考異常，自殺企図，人格障害，躁病反応，多幸症，舞踏病様アテトーシス，片頭痛，悪夢，うつ病，独語，衝動行為，自動症，アカシジア，振戦，構音障害，筋強剛，流涎，ブラジキネジア，歩行異常，ジスキネジア，嚥下障害，ジストニア，眼球回転発作，顆粒球減

少，頻脈，起立性低血圧，心悸亢進，低血圧，高血圧，徐脈，不整脈，失神，心電図異常，AST・ALT・LDH 上昇，Al-P・ γ -GTP 上昇，ビリルビン血症，去痰困難，鼻炎，便秘，食欲不振，食欲亢進，嘔気，嘔吐，腹痛，下痢，イレウス，消化不良，瞳孔反射障害，高プロラクチン血症，T₄ 減少，月経異常，甲状腺疾患，高コレステロール血症，高脂血症，発疹，排尿障害，排尿困難，尿失禁，尿閉，BUN 上昇，倦怠感，無力症，CK 上昇，口内乾燥，多汗，発熱，体重増加・減少，胸痛，筋痛，高 K 血症，舌麻痺，知覚減退，背部痛，肥満症，浮腫，ほてり，歯痛

【妊】未確立，有益のみ

【授】授乳中止

【小】未確立

【商】ドオルトン Duoluton シェーリング

内用：錠剤 1錠中ノルゲストレル 0.5mg，エチニルエストラジオール 0.05mg

【禁】エストロゲン依存性腫瘍(乳癌，性器癌等)及びその疑いのある患者，血栓性静脈炎・肺塞栓症又はその既往歴のある患者，重篤な肝障害の患者，前回妊娠中に黄疸又は持続性瘙痒症の既往歴のある患者，前回の妊娠中に悪化した耳硬化症の既往歴のある患者，妊娠ヘルペスの既往歴のある患者，鎌状赤血球貧血の患者，デュビン・ジョンソン症候群・ローター症候群の患者，脂質代謝異常のある患者，妊婦又は妊娠している可能性のある婦人，診断の確定していない異常性器出血のある患者

【効】機能性子宮出血，月経困難症，月経周期異常(稀発月経，頻発月経)，過多月経，子宮内膜症，卵巣機能不全

【用】○機能性子宮出血：1日1錠を7～10日間連続投与する。○月経困難症，月経周期異常(稀発月経，頻発月経)，過多月経，子宮内膜症，卵巣機能不全：1日1錠を月経周期第5日より約3週間連続投与する。

【副】血栓症，発疹，肝機能異常，黄疸，破綻出血，点状出血，帯下増加，経血量変化，乳房痛，乳房緊満感，浮腫，体重増加，動悸，血圧上昇，悪心・嘔吐，食欲不振，下痢，腹痛，便

秘，口内炎，口渇，胃痛，頭痛，眠気，倦怠感，めまい，神経過敏，痤瘡，色素沈着，熱感，腰痛，肩こり，冷感，コンタクトレンズがうまく調整されない

【妊】未確立，不可

【授】慎重

【小】思春期前：慎重

*クロバザム Clobazam

【商】マイスタン Mystan 大日本

内用：細粒剤(向) 1g 中 10mg

【禁】本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者，急性狭隅角緑内障の患者，重症筋無力症の患者

【効】他の抗てんかん薬で十分な効果が認められないてんかんの下記発作型における抗てんかん薬との併用：部分発作(単純部分発作，複雑部分発作，二次性全般化強直間代発作)，全般発作(強直間代発作，強直発作，非定型欠神発作，ミオクローニー発作，脱力発作)

【用】成人には1日10mgの投与より開始し，症状に応じて徐々に増量する。維持量は1日10～30mgを1～3回に分割投与する。最高1日量は40mgまでとする。小児には1日0.2mg/kgの投与より開始し，症状に応じて徐々に増量する。維持量は1日0.2～0.8mg/kgを1～3回に分割投与する。最高1日量は1.0mg/kgまでとする。

【副】薬物依存，退薬症候(減量・中止による)，眠気，ふらつき・めまい，構音障害，無気力，不機嫌，失調，ぼんやり感，情動不安，焦躁，筋緊張低下，行動異常，多動，頭重感，酩酊感，想起力低下，精神活動減退，易刺激性，軽躁状態，発揚状態，浮遊感，気分高揚，注意力低下，活動低下，不眠，意欲低下，複視，眼振，眼のかすみ，眼痛，唾液分泌過多，食欲不振，嘔気，嘔吐，胃部不快感，便秘，下痢，胃腸障害，白血球減少，好酸球増加，AST・ALT・ γ -GTP・ALP上昇，かゆみ，発疹，湿疹，倦怠感，脱力感，喀痰増加，体重増加，胸痛，肩の重圧感，疲労感，喘鳴，心窩部痛，尿失禁，尿閉

【妊】有益のみ

【授】回避，やむを得ない場合は授乳回避

【新・乳】未確立

*リバビリン Ribavirin

【商】レベトール Rebetol

シェリング・プラウ

内用：錠剤(劇) 1個中200mg

【警】1)本剤では催奇形性が報告されているので，妊婦又は妊娠している可能性のある婦人には投与しないこと。2)本剤では催奇形性及び精巣・精子の形態変化等が報告されているので，妊娠する可能性のある女性患者及びパートナーが妊娠する可能性のある男性患者に投与する場合には，避妊をさせること。3)本剤では精液中への移行が否定できないことから，パートナーが妊婦の男性患者に投与する場合には，【使用上の注意】を厳守すること。

【禁】妊婦・妊娠している可能性のある婦人又は授乳中の婦人，本剤の成分又は他のヌクレオシドアナログ(アシクロビル，ガンシクロビル，ビダラビン等)に対し過敏症の既往歴のある患者，コントロールの困難な心疾患(心筋梗塞，心不全，不整脈等)のある患者，異常ヘモグロビン症(サラセミア，鎌状赤血球性貧血等)の患者，慢性腎不全又はクレアチニンクリアランスが50mL/分以下の腎機能障害のある患者，重度のうつ病，自殺念慮又は自殺企図等の重度の精神病状態にある患者又はその既往歴のある患者，重篤な肝機能障害患者，自己免疫性肝炎の患者

【効】インターフェロン α -2bとの併用による次のいずれかのC型慢性肝炎におけるウイルス血症の改善：血中HCV-RNA量が高値の患者，インターフェロン製剤単独療法で無効の患者又はインターフェロン製剤単独療法後再燃した患者

【用】1日600～800mgを1日2回に分けて連日朝夕食後投与する。体重60kg以下の場合は1日600mg，体重60kgを超える場合は1日800mgとする。投与量を1日600mgとする場合は朝食後200mg，夕食後400mgを投与する。インターフェロン α -2bは，1日1回600万～1,000万国単位を週6回又は週3回筋注する。

【副】貧血，白血球減少($2,000/\text{mm}^3$ 未満)，顆粒球減少($1,000/\text{mm}^3$ 未満)，血小板減少($50,000/\text{mm}^3$ 未満)，再生不良性貧血，抑うつ，自殺企図，幻覚，妄想，昏迷，攻撃的行動，重篤な肝機能障害，ショック，消化管出血，呼吸困難，喀痰増加，膀胱癌，大腸癌，発熱，全身倦怠感，頭痛，関節痛，筋肉痛，悪寒，不眠，めまい，神

経過敏，知覚減退，眠気，不安，感情鈍麻，集中力障害，嘔声，感覚異常，瘙癢，蕁麻疹，接触皮膚炎，血小板減少，鉄代謝障害，網赤血球減少，単球增多，リンパ球增多，血清鉄上昇，リンパ球減少，白血球增多，血清鉄低下，ESR亢進，好酸球增多，好塩基球增多，リンパ節症，血小板增多，ビリルビン血症，LDH 上昇， γ -GTP 上昇，ウロビリノゲン陽性，ALT・AST 上昇，ビリルビン値低下，硫酸亜鉛混濁反応異常，ビリルビン尿，蛋白尿，血尿，頻尿，腎機能異常，排尿障害，心悸亢進，潮紅，不整脈，浮腫，末梢性虚血，高血圧，食欲不振，腹痛，悪心・嘔吐，下痢，口内炎，便秘，アミラーゼ異常，口渇，歯髄・歯周炎，胃炎，腹部膨満感，消化不良，メレナ，歯痛，舌炎，痔核，口唇炎，脱毛，発疹，湿疹，白癬，皮膚乾燥，脂漏，紅斑，癬，皮膚炎，毛囊炎，緊張亢進，無力症，手足のこわばり，舌麻痺，振戦，神経痛，咳，咽頭炎，鼻炎，鼻出血，呼吸器感染症，眼痛，眼底出血，眼底白斑，視力異常，眼球乾燥，結膜炎，目の違和感，背部痛，甲状腺機能異常，高尿酸血症，体重減少，皮膚・四肢の疼痛，ほてり，味覚障害，自己抗体産生，胸痛，高血糖，低アルブミン血症，CRP 上昇，耳鳴，疲労，多汗，高蛋白質血症，単純疱疹，尿糖，嗅覚障害，低コレステロール血症，低蛋白血症，右季肋部痛，血中尿酸低下，難聴，中耳炎

【妊】不可

【授】授与回避，やむを得ない場合は授乳回避

【未・新・乳・幼・小】未確立

*マキサカルシトール Maxacalcitol

【商】オキサロール Oxarol マルホ
外用：軟膏剤（劇） 0.0025%（10g）

【禁】本剤の成分に対して過敏症の既往歴のある患者

【効】尋常性乾癬，魚鱗癬群，掌蹠角化症

【用】1日2回適量を患部に塗擦する。

【副】瘙癢，刺激感，発赤，落屑，鱗屑，水疱，接触皮膚炎，皮疹，皮膚糜爛，色素沈着，毛包炎，腫脹，疼痛，熱感，腰痛，食欲不振， γ -GTP 上昇，AST・ALT 上昇，ウロビリノゲン陽性，血清Ca 上昇，骨型Al-P 上昇，口渇，血清無機P 上昇，CK 上昇，尿糖陽性，血清アルブミン低下，白血球減少，白血球增多，IgA 腎症，尿蛋白陽性

【妊】未確立，回避，やむを得ない場合は有益のみ

【授】回避，やむを得ない場合は授乳回避

【未・新・乳・幼・小】未確立

*イオパミドール Iopamidol

【商】イオパミロン Iopamiron シェーリング
注射：液剤（尿路・血管用）

370：1 筒（100mL）中ヨードとして 37g

【警】1) ショック等の重篤な副作用があらわれることがある。2) 本剤は尿路・血管造影剤であり，特に高濃度製剤（370mgI/mL）については脳・脊髓腔内に投与すると重篤な副作用が発現するおそれがあるので，脳槽・脊髓造影には使用しないこと。

【禁】ヨード又はヨード造影剤に過敏症の既往歴のある患者，重篤な甲状腺疾患のある患者，一般状態の極度に悪い患者，気管支喘息の患者，重篤な心障害のある患者，重篤な肝障害のある患者，重篤な腎障害（無尿等）のある患者，急性膵炎の患者，マクログロブリン血症の患者，多発性骨髄腫の患者，テタニーのある患者，褐色細胞腫の患者及びその疑いのある患者

【効】血管心臓撮影，大動脈撮影，選択的血管撮影，四肢血管撮影，ディジタル X 線撮影法による静脈性血管撮影，ディジタル X 線撮影法による動脈性血管撮影，コンピューター断層撮影における造影，静脈性尿路撮影

【用】○血管心臓撮影，四肢血管撮影：20～50mL ○大動脈撮影：30～50mL ○選択的血管撮影：5～40mL ○ディジタル X 線撮影法による静脈性血管撮影：30～50mL ○ディジタル X 線撮影法による動脈性血管撮影：3～30mL ○コンピューター断層撮影における造影：100mL
○静脈性尿路撮影：20～100mL

【副】ショック（遅発性を含む），アナフィラキシー様症状（遅発性を含む），急性腎不全，肺水腫，譫妄，錯乱，健忘症，血小板減少，痙攣発作，麻痺，肝機能障害，黄疸，心室細動，冠動脈攣縮，Stevens-Johnson 症候群，蕁麻疹，潮紅，発疹，瘙癢感，血圧低下，血圧上昇，顔面蒼白，頻脈，チアノーゼ，動悸，不整脈，虚脱，咳，くしゃみ，咽頭不快感，喘息発作，頻呼吸，喉頭不快感，嘔声，鼻閉，鼻汁，頭痛，閃光感，羞明感，めまい，あくび，不安感，しびれ，振

戦、一過性盲、発汗、悪心・嘔吐、口渇、口内にがみ感、腹痛、胸内苦悶感、熱感、発熱、悪寒、倦怠感、結膜充血

【妊】未確立、有益のみ

【授】授乳回避

【未・新・乳・幼・小】慎重

【貯】遮光

*インターフェロン α -2b Interferon α -2b

【商】イントロン A Intron A

シェリング・プラウ

注射：(劇) 1 瓶中 600 万国際単位

【警】本剤の投与により間質性肺炎、自殺企図があらわれることがあるので、「使用上の注意」に十分留意し、患者に対し副作用発現の可能性について十分説明すること。

【禁】本剤又は他のインターフェロン製剤に対し過敏症の既往歴のある患者、ワクチン等の生物学的製剤に対し過敏症の既往歴のある患者、小柴胡湯を投与中の患者、自己免疫性肝炎の患者

【効】○次のいずれかの C 型慢性肝炎におけるウイルス血症の改善：〔本剤単独の場合〕血中 HCV-RNA 量が高値ではない患者〔リバビリンとの併用の場合〕血中 HCV-RNA 量が高値の患者、インターフェロン製剤単独療法で無効の患者又はインターフェロン製剤単独療法後再燃した患者 ○HBe 抗原陽性でかつ DNA ポリメラーゼ陽性の B 型慢性活動性肝炎のウイルス血症の改善 ○腎癌、慢性骨髄性白血病、多発性骨髄腫

【用】○C 型慢性肝炎におけるウイルス血症の改善：HCV-RNA が陽性であることを確認したうえで行う。1 日 1 回 600 万～1,000 万国際単位を週 6 回又は週 3 回筋注する。リバビリンを併用する場合、リバビリンは 1 日 600～800mg を 1 日 2 回に分けて連日朝夕食後投与する。リバビリンは、体重 60kg 以下の場合は 1 日 600mg、体重 60kg を超える場合は 1 日 800mg とする。投与量を 1 日 600mg とする場合は朝食後 200mg、夕食後 400mg を投与する。○HBe 抗原陽性でかつ DNA ポリメラーゼ陽性の B 型慢性活動性肝炎のウイルス血症の改善：1 週目 1 日 1 回 600 万～1,000 万国際単位、2 週目より 1 日 1 回 600 万国際単位を筋注する。ただし、投与開始日は 1 日 1 回 300

万国際単位又は 600 万国際単位を投与する。

○腎癌、慢性骨髄性白血病、多発性骨髄腫：1 日 1 回 300 万～1,000 万国際単位を筋注する。

【副】間質性肺炎、肺線維症、抑うつ、自殺企図、意識障害、痙攣、見当識障害、譫妄、錯乱、幻覚、躁状態、妄想、精神分裂症状、失神、痴呆様症状、難聴、興奮、自己免疫現象によると思われる症状・徴候(甲状腺機能異常、肝炎、溶血性貧血、潰瘍性大腸炎、関節リウマチ、IDDM の増悪又は発症)、糖尿病、重篤な肝障害、急性腎不全、汎血球減少、無顆粒球症、白血球減少(2,000/mm³ 未満)、血小板減少(50,000/mm³ 未満)、ショック、心筋症、心筋梗塞、心不全、狭心症、心室性頻脈、消化管出血、消化性潰瘍、虚血性大腸炎、脳出血、敗血症、HUS、発熱、頭痛・頭重感、全身倦怠感、筋肉痛、悪寒・戦慄、関節痛、眠気、不安、不眠、焦燥、めまい、知覚異常、神経過敏、思考異常、感情鈍麻、健忘、集中力障害、尿失禁、発疹、蕁麻疹、瘙癢感、貧血、血小板減少、顆粒球減少、リンパ球增多、好酸球增多、単球增多、リンパ節症、顆粒球增多、リンパ球減少、出血傾向、AST・ALT・Al-P・ γ -GTP・LDH 上昇、黄疸、BUN・クレアチニン上昇、蛋白尿、血尿、頻尿、排尿障害、尿沈渣異常、浮腫、頻脈、動悸、血圧上昇、顔面潮紅、徐脈、血圧低下、末梢性虚血、心電図異常、房室ブロック、食欲不振、食欲亢進、悪心・嘔吐、消化不良、胸やけ、腹部膨満感、腹痛、下痢、便秘、口内炎、口唇炎、口渇、嚥下障害、消化管障害、胃炎、舌炎、歯周・歯肉炎、脱毛、皮膚炎、紅斑、湿疹、乾癬、紫斑、皮膚乾燥、光線過敏症、落屑、水疱、爪疾患、皮膚変色、瘡瘍、急性脾炎、脳波異常、構語障害、麻痺、下腿痙直、四肢のしびれ、関節痛、筋肉痛、緊張亢進、無力症、錐体外路症状、ニューロパシー、神経痛、CK 上昇、肺塞栓症、肺水腫、胸膜炎・胸水、血痰、鼻炎、咳嗽、呼吸困難、喀痰増加、過呼吸、気管支痙攣、あくび、眼底出血、眼底白斑、眼痛、羞明、結膜炎、注射部の疼痛・発赤・硬結・皮膚潰瘍、移植後の拒絶反応、感染症、不正出血、嗅覚障害、電解質異常、サルコイドーシス、性欲減退、多汗、耳鳴、アルブミン減少、血清総蛋白減少、体重減少、味覚異常、ほてり、胸部・背部・咽頭部の疼痛、インポテンス、膀胱炎、悪液質、グロ

ブリン上昇，高蛋白血症，低コレステロール血症，高トリグリセライド血症，月経異常，単純疱疹，各種自己抗体の陽性化，腹水，膿瘍

【妊】有益のみ

【授】授乳回避

【未・新・乳・幼・小】未確立

【貯】10℃以下

*インスリンアスパルト Insulin Aspart

【商】ノボラピッド NovoRapid

ノボ・ノルディスクファーマ

注射：液剤（劇） 1 筒（3mL）中 300 単位

【禁】低血糖症状を呈している患者，本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者

【効】インスリン療法が適応となる糖尿病

【用】初期は 1 回 2～20 単位を毎食直前に，専用のインスリン注入器を用いて皮下注する。持続型インスリン製剤の投与量を含めた維持量は 1 日 4～100 単位である。

【副】低血糖，アナフィラキシーショック，血管神経性浮腫，アレルギー，蕁麻疹，発疹，痒痒感，血圧降下，肝機能障害，食欲不振，嘔気，腹痛，治療後神経障害，屈折異常，糖尿病網膜症の顕在化・増悪，注射部位の疼痛・発赤・腫脹・硬結・リポディストロフィー・発疹・痒痒感，呼吸困難，浮腫，発熱，倦怠感，めまい

【妊】注意

【小】インスリン需要量変化注意

【貯】遮光，2～8℃

【商】フィジオ 140 Physio 140 大塚

注射：液剤 1 袋 500mL

【禁】高マグネシウム血症・甲状腺機能低下症の患者

【効】循環血液量及び組織間液の減少時における細胞外液の補給・補正，代謝性アシドーシスの補正

【用】1 回 500～1,000mL を点滴静注する。投与速度は 15mL/kg/時以下とする。

【副】ST 低下，不整脈，脳浮腫，肺水腫，末梢の浮腫

【未・新・乳・幼・小】未確立

*タクロリムス水和物 Tacrolimus Hydrate

【商】プログラフ Prograf 藤沢

注射：液剤（劇） 1 管（1mL）中 5mg

【警】臓器移植における本剤の投与は，免疫抑制療法及び移植患者の管理に精通している医師又はその指導のもとで行うこと。

【禁】本剤の成分（ポリオキシエチレン硬化ヒマシ油を含む）に対し過敏症の既往歴のある患者，シクロスポリン投与中の患者，カリウム保持性利尿剤投与中の患者，妊婦又は妊娠している可能性のある婦人

【効】○下記の臓器移植における拒絶反応の抑制：腎移植，肝移植，心移植 ○骨髄移植における拒絶反応及び移植片対宿主病の抑制

【用】○腎移植：1 回 0.10mg/kg を生理食塩液又はブドウ糖注射液で希釈して 24 時間かけて点滴静注する。内服可能となった後はできるだけ速やかに経口投与に切り換える。○肝移植：1 回 0.10mg/kg を生理食塩液又はブドウ糖注射液で希釈して 24 時間かけて点滴静注する。内服可能となった後はできるだけ速やかに経口投与に切り換える。○心移植：1 回 0.05mg/kg を生理食塩液又はブドウ糖注射液で希釈して 24 時間かけて点滴静注する。内服可能となった後はできるだけ速やかに経口投与に切り換える。○骨髄移植：移植 1 日前より 1 回 0.03mg/kg を生理食塩液又はブドウ糖注射液で希釈して 24 時間かけて点滴静注する。移植片対宿主病発現後に本剤の投与を開始する場合には，1 回 0.10mg/kg を生理食塩液又はブドウ糖注射液で希釈して 24 時間かけて点滴静注する。内服可能となった後はできるだけ速やかに経口投与に切り換える。

【副】ショック，急性腎不全，ネフローゼ症候群，心筋障害，心不全，心室性・上室性不整脈，狭心症，心膜液貯留，全身痙攣，意識障害，錯乱，言語障害，皮質盲，片麻痺，脳梗塞，脳出血，HUS，TTP，汎血球減少症，血小板減少性紫斑病，イレウス，Stevens-Johnson 症候群，呼吸困難，急性呼吸窮迫症候群，細菌性・ウイルス性・真菌性・原虫性感染症の発現又は増悪，リンパ腫，BUN・クレアチニン上昇，クレアチニンクリアランス低下，尿蛋白，尿量減少，多尿，頻尿，残尿感，高血糖，尿糖，高 K 血症，高尿酸血症，高トリグリセライド血症，アシドーシス，高コレステロール血症，高リン酸血症，低リン酸血症，高 Cl 血症，高 Ca 血症，低 Ca 血症，低 Mg 血症，低蛋白血症，低 Na 血症，低 K

血症，血圧上昇，浮腫，血圧低下，徐脈，頻脈，動悸，心電図異常，振戦，頭痛，眼振，外転神経麻痺，めまい，四肢硬直，運動失調，しびれ，感覚異常，不眠，傾眠，意識混濁，失見当識，うつ病，譫妄，興奮，幻覚，悪心，嘔吐，腹部膨満感，腸管運動障害，食欲不振，下痢，腹痛，胃潰瘍，下血，大腸炎，膵炎，アミラーゼ上昇，黄疸，AST・ALT・Al-P・LDH・γ-GTP 上昇，貧血，血小板増多，血小板減少，白血球増多，白血球減少，リンパ球減少，発疹，紅斑，瘙癢，脱毛，ほてり，胸水，腹水，喘息，咽喉頭違和感，発熱，発赤，全身倦怠感，筋肉痛，関節痛，眼痛，多汗，体重減少，味覚異常，月経過多

【妊】不可

【授】授乳回避

【未・新・乳・幼】〔骨髄移植・腎移植〕未確立

【小】〔心移植〕未確立

【貯】遮光